下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信

令和6年8月1日　第49号
奈良県下市町教育委員会
教育長　上東　祥浩　発行

下市あきつ学園　　教職員夏期研修

▼7月19日（金）、岐阜聖徳学園大学　教授　玉置　崇様、奈良教育大学　准教授　小﨑誠二様をお招きし、子どもたちが主体的に学びに向かう力を育むための研修を行いました。お二方は、従前からのお知り合いで、文部科学省とも連携され、日本の教育界をリードされておられる方々です。たいへんご多用の中、あきつ学園のためにお越しいただいたこと深謝申し上げます。▼さて、学園では、これまでの授業実践の課題や6月に実施した校内授業研究からの反省点をまとめ、事前に玉置先生にお目通しいただき、そのことを踏まえて、玉置先生から指導助言と関連する貴重なお話しをいただきました。小﨑先生からは、あきつ学園の先生から講演の中で出された質問に対して丁寧にご回答いただきました。

お誕生会（お話の会）～こども園～

▼6月28日（金）、下市お話の会の皆様に、お誕生会に来ていただきたくさんのお話を届けてくれました。▼子どもたちの大好きな「はらぺこあおむし」の大型絵本、また紙芝居や手遊びを通して楽しい時間を過ごしました。これからも絵本などに親しんでもらえることを願っています。

七夕まつり　～こども園～

▼7月5日（金）、保護者会文化部の主催で、園児（3歳児～5歳児）の親子で短冊に願い事を描いたり、色々な素材を使ってお菓子を入れるカバンを作ったりたりしました。▼みんなで「たなばた」の歌を歌い、ご家族の方々にも楽しいひと時を過ごしていただきました。

手話教室　～こども園～

▼奈良県聴覚障害者支援センターの松田隆様をお迎えし、挨拶の仕方や果物の名前を手話で教えていただきました。▼手話を見るのが初めての子がほとんどでしたが、身近な物や「かたつむり」の歌を手話を使って歌うことで、子どもたちは身近に感じたようでした。

第２回下市生活学校

▼6月に第2回下市生活学校を開催しました。昨年に引き続き『己書（おのれしょ）』の講習です。▼書き方や文字の書き順にとらわれることなく、自らが思うがまま、自由に筆を走らせ、楽しく表現することを大切にされています。▼時間があっという間に過ぎたそうです。

第１回下市町文化財保護委員会

▼6月28日（金）、第1回下市町文化財保護委員会を開催しました。事業報告、事業計画等や下市町の歴史文化遺産を有形文化財として指定していくための案件を審議いただきました。▼その後、南北朝時代に南朝の御所になった西吉野町賀名生（あのう）にある歴史民俗資料館を訪れ、下市町とゆかりのある歴史を探訪しました。

『生き生き学級』　開校式・第１回講座

▼7月4日（木）、高齢者の集いを通して、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることをねらいとして開催しています。▼今回は栄養ケア・ステーション『もぐエイル』の栄養管理士　辻本昌代先生に『元気なからだをつくる食生活』と題して講演をしていただきました。▼元気なからだをつくるためには、運動・社会参加・食事の大切さを詳しく学びました。

『へいわってすてきだね』

へいわってすてきだね

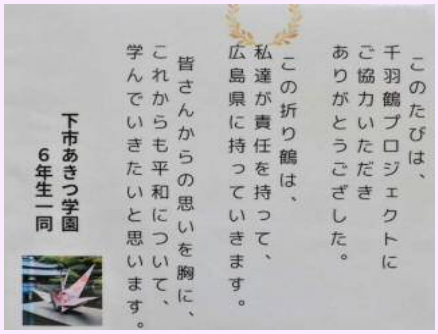
作　安里 有生

画　長谷川 義史

出版 ブロンズ新社

へいわってなにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちと なかよし。
かぞくが げんき。
えがおで あそぶ。
ねこが わらう。
おなかが いっぱい。
やぎが のんびり あるいてる。
けんかしても すぐ なかなおり。
ちょうめいそうが たくさん はえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンと なく。
みなとには、フェリーが とまっていて、
うみには、かめやかじきが およいでいる。
やさしいこころが にじになる。
へいわっていいね。
へいわってうれしいね。
みんなのこころから、
へいわがうまれるんだね。
せんそうは、おそろしい。
「ドドーン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくる こわいおと。
おなかがすいて、くるしむこども。
かぞくが しんでしまって なくひとたち。
ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。
へいわなかぞく、へいわながっこう
へいわな よなぐにじま、へいわなおきなわ
へいわな せかい、
へいわって すてきだね。
これからも、ずっと へいわが つづくように
ぼくも、ぼくのできることから がんばるよ。

▼10年前に修学旅行の生徒引率で沖縄県に行った時でした。沖縄県平和資料記念館への見学を済ませて出口付近に差し掛かったところにこの詩が掲げてありました。この詩は、沖縄県平和資料記念館が募った「児童・生徒平和へのメッセージ」に応募された与那国島の当時小学校1年生の安里有生さんの作品でした。▼私は、時間を経つのも忘れ、何回も詩を読み返しました。純真で、平和に対する安里有生さんの力強い思いがひしひしと伝わってきたことを今も忘れることができません。▼早速、この詩を『学校だより』に載せて、全校生徒に紹介をしたところ、修学旅行に行った中学3年生から、「私も立ち止まって読み、心に残りました。」「感動しました。」との声が寄せられました。あきつ学園の児童・生徒の皆さんもじっくり読んでみてください。▼今年は、戦後79年、8月15日には、第79回の終戦記念日を迎えます。私たちは、戦争という惨禍を二度と繰り返してはなりません。しかし、、世界の中には、戦火におびえ、苦しんでいる人達がたくさんいます。同じ人間同士が、互いに傷つけあい苦しむ戦争は、とても恐ろしく悲しいことです。▼世界から戦争をなくすために、まず私たちができることとして、一人一人が互いに思いやる心や優しい心を持つことだと考えます。▼今年も、下市あきつ学園6年生は、地域の皆様からご協力をいただいた折り鶴を千羽鶴にして広島への修学旅行で平和記念公園に献納します。



▼4年に1度の平和の祭典オリンピック・パラリンピックが、フランスパリで7月26日から開催されています。オリンピック開催の理念のもと、国や文化などの違いに関係なく、お互いに理解し合い、友好を深めて、世界平和につなげていくことを願っています。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp